

奈良市議会議員

もり た かず なり

森田 一成

奈良市議会活動報告



市の経済活性化へ万博来場者取り込み

「綿密な準備が必要」市に訴え

奈良市議会の森田一成は今年度の活動の中、令和7(2025)年に開催される大阪・関西万博を契機に「奈良市への誘客や経済効果の波及に取り組むべき」と市に提案しました。今年度は万博の準備の予算として400万円を計上しています。国内から2800万人もの来場が予測される万博へ「本腰を入れた綿密な奈良市の準備を」と強く求めました。私の市議会活動や、地元の陳情・要望の結果などについてご報告いたします。

今年度の市議会9月定例会で私は「大阪・関西万博の開催は、コロナ禍で落ち込んだ市内経済の回復や復興、産業再生の絶好の機会」とし、奈良市として誘客やイベントの開催などの準備をしているか質問に立ちました。

平城宮跡の朱雀門の南側は「朱雀大路エリア」写真として交流やイベントなどに活用されています。令和3年10月からは、旧積水化学工業の工場跡地に新駐車場の整備が完成し、市内の周遊バスの運行も充実しています。またこの駐車場は、今後、県により公園整備がされる予定です。

私は「朱雀門エリアを利活用して盛大な一大イベントを開催すべき」と提案しました。

仲川元庸市長は「大阪・関西万博は、国内外から2800万人の来場者が見込まれ、市としても、万博への来場の折に、奈良にも併せてお越しをいただくためにしっかりと市の魅力

を発信するプロモーションを行いたいと考えている」と答弁がありました。

加えて私は「令和4年度予算では、ウズベキスタン・サマルカンド市との交流経費が計上され、中央アジアとの交流に力を注ぐようになっていく。委員会でも提案したが、大阪・関西万博という機会を活用してシルクロード沿線の都市と連携したイベントを開催するのにも有意義ではないか」と質問。

仲川市長は「ウズベキスタンのサマルカンド市は、シルクロードの東西交易の重要な結節点として長い歴史を持ち、奈良との歴史的関わりも深く、今後は新たに経済分野も視野に入れ、より一層、幅広い交流を深めていきたい。また姉妹都市の西安市、慶州市との連携についてもシルクロード沿線都市としてそれぞれ長年にわたる交流の実績を有している。また歴史的に重要な港灣都市だった

揚州市についても、既に友好都市関係を締結している。東アジアで友好関係を結ぶ各都市との連携は、今後の観光誘客にも重要な役割を果たすものと考えている」とし、「大阪・関西万博を機会にこれまで蓄積してきた友好都市、姉妹都市との交流を大きな資産として生かしていきたい」と答弁されました。

私は「令和のシルクロード博」のような誘客イベントを

京奈和自動車道整備/JR新駅へのアクセス道路



私は昨秋、所属する奈良市議会の会派「自民党・結の会」のメンバーと仲川市長と共に上

京奈和自動車道整備/JR新駅へのアクセス道路 国にまちづくり予算を要望

京し、西ノ京西南北線や六条奈良線などの改築事業費に充てられている社会資本整備総合交付金、JR新駅を中心とした新産業拠点と連携した道路整備促進などの大型事業に対する新年度予算の要望のため、国土交通省や財務省を訪れ陳情しました。

特に京奈和自動車道整備やJR新駅へのアクセス道路整備については、スピーディーな整備を国に求め、奈良市のまちづくりのための財政支援を要望しました。



- 都跡地区子供会顧問
- 三条・四条大路2・3丁目子供会幹事
- 国際空手道連盟極真会館 奈良支部相談役
- 奈良商工会議所青年部朋友会会員
- 奈良市ラグビーフットボール協会副会長
- 北和高等学校同窓会会長
- 奈良西ライオンズクラブ会員
- 奈良市ウエイトリフティング協会副会長

